

教科【商業：簿記】

単元名  有価証券の取引	[指導項目] 1 有価証券とは 2 有価証券の取得と売却 3 最近の企業の株価と変動
--------------------	---

1 単元目標

(1) 有価証券の記帳について、理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 有価証券の記帳法の妥当性と、実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて思考・判断し、適切に表現する力を養う。 (3) 有価証券の適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
有価証券の記帳について、理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	有価証券の記帳法の妥当性と、実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて思考・判断し、適切に表現することができる。	有価証券の適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3 指導と評価の計画（4時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（評価規準・評価方法）
第一次 （1時間）	1 有価証券とは 2 有価証券の取得と売却 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">有価証券の取得と売却の記帳について理解する</div> ・有価証券に分類されるものを確認する。 ・有価証券の取得時および売却時における記帳方法を確認する。	知		・有価証券の取得と売却の記帳について理解し、正しく記帳することができる。 問題集・ペーパーテスト（定期考査）
第二次 （3時間）	3 最近の企業の株価と変動 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">学んだ仕訳と記帳法が実社会とどのようなつながりがあるのかを学ぶ。</div> ・企業の過去の株価変動について調べ、その原因を探る。 ・グループにて、企業の有価証券報告書等をもとに企業の事業計画を調べ、投資する企業を決定するとともに、有価証券の取得の仕訳をする。その後、企業決定の根拠を発表する。 ・有価証券の売却の処理を行い、取得から売却の一連の学習内容と実社会のつながりを考える。	思 主	○	・インターネットを用いて企業情報を収集・分析し、科学的な根拠に基づいて適切に表現することができる。 ワークシート ・自らの意見をまとめ、他者の意見にも耳をかたむけながら主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 行動観察・ワークシート

#### 4 観点別学習状況の評価の進め方

##### (1) 観点：【主体的に学習に取り組む態度】

###### ア 評価の進め方

###### ① 行動観察

個人による調べ学習において、自ら調べる姿勢や収集した情報（根拠）に基づき分析を行う姿勢および、グループワークでの調べ学習に協力して取り組む姿勢などを観察し、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか、観察記録を付け、評価材料とする。

###### ② ワークシート

個人で調べた内容（株価推移、企業の事業内容、関連ニュース等）および、グループワークで共有した情報や意見をまとめ、記述させる。グループワークでの交流で、どのような意見交流をし、どのような学習ができたか、また、学習を通してどのような気づきがあったかを記述させ、評価材料とする。

###### イ 評価の実践事例

「主体的に取り組む態度」の評価には、性格や行動の面の傾向が一時的に表出された場面をとらえることのみで評価を行わず、「知識・技術」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで、評価をすることが望ましいとされている。そのため、①知識及び技術を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた「粘り強い取組を行おうとしている側面」、と②①の粘り強い取組を行う中で、「自らの学習を調整しようとする側面」の2つの側面を評価する。行動観察（グループワークにおける発言や役割）とワークシート（ワークシートに記述された内容）を基準に評価を行った。

##### 【評価規準】

###### ①粘り強い取組を行おうとしている側面

評価	b	a	c
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
	企業の過去の事象および今後の展望について調べ、自らの意見をまとめようとして学習に取り組んでいる。	企業の過去の事象および今後の展望について調べ、自らの意見をまとめようとして学習に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	企業の過去の事象および今後の展望について調べ、自らの意見をまとめようとしていない。

###### ○「おおむね満足できる」状況（b評価）

- ・企業に関する2つ以上の情報を調べ、それを根拠として自らの意見をまとめることができている。
- ・ワークシートは完成しているが、グループ活動において主体的かつ協働的に取り組む姿勢が見られない。

###### ○「努力を要する」状況（c評価）

- ・企業に関する情報を調べることができず、根拠をもって自らの意見をまとめることができていない。
- ・ワークシートへの記載が不十分で、グループ活動において主体的かつ協働的に取り組む姿勢が見られない。

<手だて>

行動観察や机間指導の際に記述状況から努力を要すると見込まれる場合、声掛けを行ったり、グループでの情報交流の際に他の生徒と相談させたりすることで、周囲にサポートしてもらうとともに個別指導を行っていく。

###### ○「十分に満足できる」状況（a評価）

- ・企業に関する2つ以上の情報を調べ、それを根拠として自らの意見をまとめることができている。
- ・ワークシートが完成しており、グループ活動において主体的かつ協働的に取り組む姿勢が見られる。

②自らの学習を調整しようとする側面

評価	b	a	c
状況	おおむね満足できる	十分に満足できる	努力を要する
	企業の過去の事象および今後の展望について、自分の言葉で説明ができるよう主体的に取り組んでいる。	企業の過去の事象および今後の展望について、自分の言葉で説明ができるよう主体的かつ協働的に取り組んでいる。	企業の過去の事象および今後の展望について、自分の言葉で説明ができるよう取り組めていない。

○「おおむね満足できる」状況 (b 評価)

- ・グループ交流を含め、新たに気づいたことについて自分の言葉で説明や記述することができる。
- ・知識・技術との理解を関連付けて学習の調整が習得に結びついている。

○「努力を要する」状況 (c 評価)

- ・グループ交流を含め、新たに気づいたことについて自分の言葉で説明や記述することができていない。
- ・知識・技術との理解を関連付けて学習の調整が習得に結びつけられない。

<手だて>

行動観察や机間指導の際に記述状況から努力を要すると見込まれる場合、声掛けを行ったり、グループでの情報交流の際に他の生徒と相談させたりすることで、周囲にサポートしてもらうとともに、個別指導を行っていく。

○「十分に満足できる」状況 (a 評価)

- ・グループ交流を含め、新たに気づいたことについて自分の言葉で説明や記述することができる。
- ・知識・技術との理解を関連付けて学習の調整が習得に結びついており、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

ウ 評価の考え方

①粘り強い取り組みを行おうとしている側面	a	B	A	A
	b	B	B	A
	c	C	B	B
		c	B	a
②自ら学習を調整しようとする側面				

主体的に学習に取り組む態度の2つの評価 (①粘り強い取組を行おうとしている側面と②自らの学習を調整しようとする側面)のうち、どちらかが主体的かつ協働的に取り組むことの「a 評価 (十分に満足できる)」であれば総合的にA評価となりうるように基準を設けた。また、多くの生徒が「b 評価」を得られるように評価の基準を設定していくように注意した。なお、「C評価」については、どちらの観点も努力を要する「c 評価」場合のみであり、個別指導や周囲のサポートにより支援をしても改善が見込めないような状況を想定した。

今回は ChatGPT を活用し、企業の経営状況や今後の展望等を効率的に情報収集する学習を取り入れたが、実際に正しい情報、欲しい情報を得る段階で苦慮している生徒が多く、企業を決定していく段階での検討時間が想定より時間を要した。今後は身近な企業に絞り、企業の経営状況や経営方針、企業の業績と株価変動といった情報収集の時間を多く取れるように改善をしたい。またグループ学習では、リーダーが ChatGPT を活用し、効率よく情報収集ができたグループがある一方で、役割分担がうまくできず、効率よく情報収集ができないグループもあった。そのため、各グループでの役割分担や効率よく情報収集ができる方法についても指導する必要性を感じた。

今回は ChatGPT を活用した研究を行ったが、今後機会があれば他の対話型生成 AI についても研究を行っていきたい。